

## もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期的予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
  - 制度の利用を申しこむときは、その接種を受けた時に住民登録していた市町村にご相談ください。
- ※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。

### シリーズのご紹介

このリーフレットは、法律で定められている定期接種のうち小児の肺炎球菌ワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



BCG  
ワクチンのはなし



MR  
ワクチンのはなし



日本脳炎  
ワクチンのはなし



水痘  
ワクチンのはなし



DTP-IPV-Hib  
ワクチンのはなし



Hib  
ワクチンのはなし



小児の肺炎球菌  
ワクチンのはなし



DTP-IPV  
ワクチンのはなし

くわしくは  
「予防接種と子どもの健康」  
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん  
ください。



医療機関名

# きょう

きょう 予防接種をうける  
お子さんと、保護者のみなさまへ

小児の肺炎球菌ワクチンのはなし



令和6(2024)年4月から15価の肺炎球菌ワクチンが定期接種に位置づけられ、これを基本とすることになりました。

# コノワクチン

# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

## 小児の肺炎球菌ワクチンのはなし

わからないことは先生に相談しよう！



- お子さんの体調はよいか、熱があったり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



1

### 当日はココをチェック



- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。

2

### ワクチンを接種するときのポイント

- 接種直後、30分くらいは接種後の体調変化にすぐ対応してもらえよう、医療機関のなかでお子さんの様子を見てあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種を受けたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

### おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆ 肺炎球菌ワクチンを接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
  - ◆ 注射したところだけでなく、熱がでたり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。
  - ◆ 乳児はいつもよりむずかたり、眠そうにしたりすることがあります。
  - ◆ きわめてまれにアナフィラキシー<sup>3)</sup>、けいれん、けいしょうぼんげんしょうせいしはんびょう血小板減少性紫斑病<sup>4)</sup>などの重い病気にかかることもあるといわれています。
- 3) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんが起きたり呼吸が苦しくなったりします。  
4) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働きの血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができた、歯ぐきから血がでたりします。

○ 予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。



3

### 接種後の注意